

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年5月15日

【四半期会計期間】 第69期第2四半期(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

【会社名】 扶桑電通株式会社

【英訳名】 FUSO DENTSU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 児玉栄次

【本店の所在の場所】 東京都中央区築地五丁目4番18号

【電話番号】 03(3544)7211(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 星野博直

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区築地五丁目4番18号

【電話番号】 03(3544)7211(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部長 星野博直

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第68期 第2四半期累計期間 | 第69期 第2四半期累計期間 | 第68期 |
|------------------------------|------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日 | 自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日 | 自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日 |
| 売上高 | (千円) | 24,765,199 | 27,439,768 | 39,922,134 |
| 経常利益 | (千円) | 1,441,210 | 1,656,232 | 953,374 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | 1,085,231 | 1,088,443 | 711,096 |
| 持分法を適用した場合の 投資利益 | (千円) | | | |
| 資本金 | (千円) | 1,083,500 | 1,083,500 | 1,083,500 |
| 発行済株式総数 | (株) | 8,701,228 | 8,701,228 | 8,701,228 |
| 純資産額 | (千円) | 6,060,089 | 6,769,675 | 5,677,504 |
| 総資産額 | (千円) | 26,586,273 | 30,010,235 | 21,121,735 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 | (円) | 141.50 | 151.40 | 95.47 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | |
| 1株当たり配当額 | (円) | 6.00 | 6.00 | 18.00 |
| 自己資本比率 | (%) | 22.79 | 22.56 | 26.88 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 645,759 | 433,364 | 1,165,364 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 1,378,418 | 16,264 | 1,364,045 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 272,493 | 89,640 | 319,374 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 3,642,963 | 3,562,044 | 4,101,314 |

| 回次 | | 第68期 第2四半期会計期間 | 第69期 第2四半期会計期間 |
|---------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日 | 自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | 172.85 | 161.00 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高に消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 持分法を適用した場合の投資利益については、損益等からみて重要性の乏しい関連会社のみであるため記載しておりません。
5. 第68期の1株当たり配当額18円(1株当たり中間配当額6円)には、創立65周年記念配当6円が含まれております。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。
また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策や金融政策を背景に企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国経済の減速及び円安進行による原材料価格の上昇など国内外の懸念材料もあり、依然として不透明な状況が続いております。

当社が位置するICT(情報通信技術)業界においては、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加や、企業収益の改善を背景に設備投資が回復基調を続けている一方で、同業他社との価格競争の激化など依然として厳しい環境が続いております。

このような環境のなか、当社は『誠心誠意 お客様のお役に立つ愛される企業』をモットーに経営方針に基づく中長期経営戦略を的確に実践するとともに、首都圏、関西圏を中心に業績の拡大を図り、各地方店所においてはそれぞれの地域の特性にあった得意ビジネスの拡販に取り組んでまいりました。特に、東日本大震災復興計画に即した復興支援としての通信インフラ関連ビジネスや防災ビジネスに注力するとともに、法改正、内部情報システム構築などの自治体ビジネスを拡大してまいりました。また、Windows XPサポート終了に伴う入替需要や消費税率引き上げを背景とした駆け込み需要により総じて好調に推移いたしました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、通信機器部門においては、公共関連ビジネスである防災関連ビジネスや大手企業向けネットワーク関連ビジネス、省エネ支援サービスとしての太陽光パネル設置工事などが好調に推移したことから前年同四半期に比べ売上高は伸長いたしました。電子機器部門においては、公共関連ビジネスとしての自治体向け総合行政システム、大手企業向けシステム構築やヘルスケアビジネスなどが好調に推移したことから、前年同四半期に比べ売上高は伸長いたしました。OA機器においては、Windows XPサポート終了に伴う入替需要などによりパソコンやサーバ販売が好調に推移したことから前年同四半期に比べ売上高は大きく伸長いたしました。保守部門においては、ストックビジネスの拡大を目指し扶桑LCMサービスを核としてのサポートデスクサービスやコンサルティングサービスなどのアウトソーシングサービスは順調に推移いたしました。ハードウェア保守の減少傾向は依然として続いており前年同四半期に比べ微減となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は四半期業績の特性もあり、受注高23,674百万円(前年同四半期比113.6%)、売上高27,439百万円(前年同四半期比110.8%)となりました。利益につきましては、営業利益1,569百万円(前年同四半期比105.6%)、経常利益1,656百万円(前年同四半期比114.9%)、四半期純利益1,088百万円(前年同四半期比100.3%)となりました。

当第2四半期累計期間の部門別売上高は、通信機器部門13,897百万円(前年同四半期比111.2%)、電子機器部門6,735百万円(前年同四半期比112.1%)、OA機器部門3,130百万円(前年同四半期比124.1%)、保守部門3,675百万円(前年同四半期比98.4%)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ8,888百万円増加し30,010百万円となりました。主な増加理由といたしましては、受取手形及び売掛金が9,817百万円増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前事業年度末に比べ7,796百万円増加し23,240百万円となりました。主な増加理由といたしましては、支払手形及び買掛金が7,918百万円増加したことなどによるものです。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1,092百万円増加し、6,769百万円となりました。主な増加理由といたしましては、四半期純利益の計上により利益剰余金が1,002百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて539百万円減少し、3,562百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動で使用した資金は、前年同四半期と比べ1,079百万円増加し、433百万円の支出となりました。主な要因は、仕入債務が7,918百万円増加したものの、売上債権が9,872百万円増加したことによるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動で使用した資金は、前年同四半期に比べ1,394百万円増加し16百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動で使用した資金は、前年同四半期に比べ182百万円減少し89百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において新たに発生した事業上および財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 30,000,000 |
| 計 | 30,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年5月15日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|-------------------------|
| 普通株式 | 8,701,228 | 8,701,228 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数は、1,000株 であります。 |
| 計 | 8,701,228 | 8,701,228 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年1月1日～ 平成26年3月31日 | | 8,701,228 | | 1,083,500 | | 1,076,468 |

(6) 【大株主の状況】

平成26年3月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--|---|---------------|------------------------------------|
| 扶桑電通従業員持株会 | 東京都中央区築地5丁目4番18号 | 1,363 | 15.66 |
| 滝内裕子 | 東京都港区 | 400 | 4.59 |
| 太田雅子 | 東京都港区 | 400 | 4.59 |
| 株式会社みずほ銀行 (常任代理人資産管理サービス 信託銀行株式会社) | 東京都千代田区丸の内1丁目3-3 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタ ワーZ棟) | 348 | 4.00 |
| HTホールディングス株式会社 | 石川県金沢市小橋町3-47 | 150 | 1.72 |
| 吉田稔 | 香川県丸亀市 | 135 | 1.55 |
| 建部六郎 | 埼玉県新座市 | 103 | 1.18 |
| 加藤盛三 | 神奈川県伊勢原市 | 80 | 0.91 |
| 大平昭夫 | 東京都練馬区 | 75 | 0.86 |
| 山崎栄子 | 宮城県仙台市宮城野区 | 75 | 0.86 |
| 計 | | 3,130 | 35.97 |

(注) 上記の他、当社所有の自己株式1,513千株(17.39%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|---------------------------|----------|----------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式1,513,000 | | 権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 7,073,000 | 7,073 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 115,228 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 8,701,228 | | |
| 総株主の議決権 | | 7,073 | |

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式180株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 扶桑電通株式会社 | 東京都中央区築地 5丁目4番18号 | 1,513,000 | | 1,513,000 | 17.38 |
| 計 | | 1,513,000 | | 1,513,000 | 17.38 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成26年1月1日から平成26年3月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成25年10月1日から平成26年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社には子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,701,072 | 2,561,603 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,049,804 | 15,867,294 |
| 有価証券 | 1,400,242 | 1,000,441 |
| 商品 | 59,846 | 35,190 |
| 仕掛品 | 1,661,068 | 1,577,304 |
| 繰延税金資産 | 387,128 | 418,608 |
| その他 | 560,902 | 568,520 |
| 貸倒引当金 | 35,273 | 53,434 |
| 流動資産合計 | 12,784,791 | 21,975,529 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,167,319 | 1,167,794 |
| 減価償却累計額 | 747,704 | 761,706 |
| 建物及び構築物(純額) | 419,615 | 406,087 |
| 土地 | 189,993 | 189,993 |
| その他 | 1,637,408 | 1,706,104 |
| 減価償却累計額 | 821,749 | 1,005,624 |
| その他(純額) | 815,659 | 700,479 |
| 有形固定資産合計 | 1,425,267 | 1,296,559 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 58,484 | 48,790 |
| その他 | 22,131 | 22,131 |
| 無形固定資産合計 | 80,615 | 70,922 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,877,447 | 4,002,319 |
| リース投資資産 | 718,297 | 641,703 |
| 差入保証金 | 402,848 | 403,295 |
| 繰延税金資産 | 1,770,965 | 1,544,957 |
| その他 | 942,707 | 330,443 |
| 貸倒引当金 | 881,206 | 255,495 |
| 投資その他の資産合計 | 6,831,060 | 6,667,224 |
| 固定資産合計 | 8,336,944 | 8,034,706 |
| 資産合計 | 21,121,735 | 30,010,235 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,982,678 | 13,901,022 |
| 未払法人税等 | 73,292 | 443,384 |
| 前受金 | 414,977 | 360,418 |
| 賞与引当金 | 816,750 | 822,291 |
| 受注損失引当金 | 35,944 | 53,470 |
| その他 | 1,464,768 | 1,462,095 |
| 流動負債合計 | 8,788,412 | 17,042,682 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 500,000 | 500,000 |
| 退職給付引当金 | 4,691,285 | 4,381,600 |
| 役員退職慰労引当金 | 60,850 | 60,850 |
| リース債務 | 1,374,264 | 1,228,744 |
| その他 | 29,418 | 26,681 |
| 固定負債合計 | 6,655,819 | 6,197,877 |
| 負債合計 | 15,444,231 | 23,240,560 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,083,500 | 1,083,500 |
| 資本剰余金 | 1,076,468 | 1,076,468 |
| 利益剰余金 | 4,029,201 | 5,031,359 |
| 自己株式 | 512,583 | 513,530 |
| 株主資本合計 | 5,676,585 | 6,677,797 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 918 | 91,877 |
| 評価・換算差額等合計 | 918 | 91,877 |
| 純資産合計 | 5,677,504 | 6,769,675 |
| 負債純資産合計 | 21,121,735 | 30,010,235 |

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | ¹ 24,765,199 | ¹ 27,439,768 |
| 売上原価 | 20,108,936 | 22,779,652 |
| 売上総利益 | 4,656,263 | 4,660,115 |
| 販売費及び一般管理費 | ² 3,169,899 | ² 3,090,542 |
| 営業利益 | 1,486,363 | 1,569,573 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 552 | 746 |
| 受取配当金 | 17,121 | 21,024 |
| 仕入割引 | 2,982 | 2,215 |
| 貸倒引当金戻入額 | 662 | 60,984 |
| その他 | 33,385 | 25,355 |
| 営業外収益合計 | 54,704 | 110,326 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,174 | 21,532 |
| 貸倒引当金繰入額 | 74,105 | - |
| その他 | 1,578 | 2,135 |
| 営業外費用合計 | 99,857 | 23,667 |
| 経常利益 | 1,441,210 | 1,656,232 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 77,597 | - |
| 特別利益合計 | 77,597 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 457 | - |
| 特別損失合計 | 457 | - |
| 税引前四半期純利益 | 1,518,351 | 1,656,232 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 282,104 | 423,630 |
| 法人税等調整額 | 151,015 | 144,158 |
| 法人税等合計 | 433,119 | 567,788 |
| 四半期純利益 | 1,085,231 | 1,088,443 |

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 1,518,351 | 1,656,232 |
| 減価償却費 | 114,802 | 118,552 |
| 固定資産除却損 | 457 | - |
| 投資有価証券売却損益(は益) | 77,597 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 116,750 | 607,549 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 15,859 | 5,540 |
| 受注損失引当金の増減額(は減少) | - | 17,526 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 392,744 | 309,685 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 13,035 | - |
| 受取利息及び受取配当金 | 17,673 | 21,770 |
| 支払利息 | 24,174 | 21,532 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 5,334,421 | 9,872,050 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,247,042 | 108,420 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 3,654,092 | 7,918,344 |
| 破産更生債権等の増減額(は増加) | 687,531 | 625,710 |
| その他 | 565,514 | 39,350 |
| 小計 | 702,321 | 378,547 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17,759 | 21,828 |
| 利息の支払額 | 23,932 | 21,413 |
| 法人税等の還付額 | 3,931 | - |
| 法人税等の支払額 | 54,320 | 55,232 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 645,759 | 433,364 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | 318,888 | 1,007 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1,647,320 | - |
| 投資有価証券の償還による収入 | 63,328 | 17,463 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 5,341 | 17,297 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 5,066 | - |
| 敷金の差入による支出 | 2,546 | 4,770 |
| 敷金の回収による収入 | 3,710 | 2,745 |
| ゴルフ会員権の取得による支出 | - | 12,135 |
| その他 | 4,096 | 1,262 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,378,418 | 16,264 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 300,000 | - |
| 短期借入金の返済による支出 | 300,000 | - |
| 自己株式の取得による支出 | 222,403 | 946 |
| 配当金の支払額 | 47,070 | 85,675 |
| その他 | 3,018 | 3,018 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 272,493 | 89,640 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,751,684 | 539,269 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,891,278 | 4,101,314 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,642,963 | 3,562,044 |

【追加情報】

| 当第2四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日) |
|---|
| (法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正) 「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成26年10月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異について38.01%から35.64%に変更されております。 なお、当該変更が当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。 |

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)及び当第2四半期累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

システム導入および更新時期が、お客様の決算期である3月、9月に集中する傾向にあるため、売上高は第2四半期、第4四半期に集中、増加する特性があります。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日) |
|------------|--|--|
| 従業員給与手当 | 1,429,686千円 | 1,401,939千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 481,268千円 | 479,562千円 |
| 退職給付引当金繰入額 | 87,867千円 | 67,064千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 44,328千円 | 18,977千円 |

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 3,642,963千円 | 2,561,603千円 |
| 有価証券勘定 | 千円 | 1,000,441千円 |
| 計 | 3,642,963千円 | 3,562,044千円 |
| 株式及び償還期間が3ヶ月を超える債券 | 千円 | 千円 |
| 現金及び現金同等物 | 3,642,963千円 | 3,562,044千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年12月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 47,162 | 6 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月28日 | 利益剰余金 |

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日
後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 43,155 | 6 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月10日 | 利益剰余金 |

3 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成25年12月19日 定時株主総会 | 普通株式 | 86,284 | 12 | 平成25年9月30日 | 平成25年12月20日 | 利益剰余金 |

(注) 1株当たり配当金額には、創立65周年記念配当6円を含んでおります。

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日
後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成26年5月14日 取締役会 | 普通株式 | 43,128 | 6 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月9日 | 利益剰余金 |

3 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)及び当第2四半期累計期間
(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

当社は、通信機器・電子機器・OA機器の販売および施工、システムソフト開発、並びにこれらに関連
するサポートサービスの単一事業を営んでいるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日) | 当第2四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 141円50銭 | 151円40銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 1,085,231 | 1,088,443 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 1,085,231 | 1,088,443 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,669,307 | 7,189,010 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第69期(平成25年10月1日から平成26年9月30日)中間配当については、平成26年5月14日開催の取締役会において、平成26年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|-----------|
| 配当金の総額 | 43,128千円 |
| 1株当たりの金額 | 6円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成26年6月9日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月15日

扶 桑 電 通 株 式 会 社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 努 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 竹 貴 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑電通株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの第69期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年10月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑電通株式会社の平成26年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。